

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年3月31日(2011.3.31)

【公開番号】特開2009-194747(P2009-194747A)

【公開日】平成21年8月27日(2009.8.27)

【年通号数】公開・登録公報2009-034

【出願番号】特願2008-35083(P2008-35083)

【国際特許分類】

H 04 W 8/26 (2009.01)

H 04 W 84/12 (2009.01)

【F I】

H 04 Q 7/00 1 6 1

H 04 Q 7/00 6 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月15日(2011.2.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

通信装置であつて、

ネットワークの識別子を設定する設定手段と、

前記設定された識別子に対応するネットワークに参加し通信する通信手段と、

現在参加している第1のネットワークとは異なる第2のネットワークに参加する場合、該第2のネットワークの識別子として、前記第1のネットワークの識別子と関連する識別子を前記設定手段により設定するよう制御する制御手段と、

を備えることを特徴とする通信装置。

【請求項2】

前記制御手段は、前記第1のネットワークの識別子を構成する文字列が前記第2のネットワークの識別子に含まれるよう制御することを特徴とする請求項1に記載の通信装置。

【請求項3】

前記制御手段は、前記第2のネットワークの識別子として、前記第1のネットワークの識別子を構成する前記文字列に拡張文字列を付加した識別子を前記設定手段により設定するよう制御することを特徴とする請求項2に記載の通信装置。

【請求項4】

前記拡張文字列は、前記第1のネットワークからの分岐階層を示す文字列を含むことを特徴とする請求項3に記載の通信装置。

【請求項5】

前記拡張文字列は、同じ分岐階層に存在する他のネットワークと区別するための識別文字列を含むことを特徴とする請求項4に記載の通信装置。

【請求項6】

前記拡張文字列は、前記第2のネットワークで利用されるアプリケーションを識別可能な所定の文字列を含むことを特徴とする請求項3に記載の通信装置。

【請求項7】

前記所定の文字列は、前記アプリケーションで用いられるプロトコルを示す文字列を含むことを特徴とする請求項6に記載の通信装置。

【請求項 8】

前記拡張文字列は、前記第2のネットワークへの参加を指示したユーザを識別可能な文字列を含むことを特徴とする請求項3に記載の通信装置。

【請求項 9】

前記拡張文字列は、前記第1のネットワークの識別子を構成する前記文字列と前記拡張文字列との区切りを識別可能とするためのデリミタを先頭に含むことを特徴とする請求項3乃至8の何れか一項に記載の通信装置。

【請求項 10】

周辺に存在するネットワークを探索し前記第1のネットワークと関連するネットワークを検出する検出手段を更に備え、

前記制御手段は、更に、前記検出手段により検出されたネットワークの識別子と前記第2のネットワークの識別子とが互いに異なるように前記第2のネットワークの識別子を決定する

ことを特徴とする請求項1乃至9の何れか一項に記載の通信装置。

【請求項 11】

前記制御手段は、更に、前記第2のネットワークを新規ネットワークとして構築するよう前記通信手段を制御することを特徴とする請求項1乃至10何れか一項に記載の通信装置。

【請求項 12】

前記制御手段は、更に、ステーションとして、前記第2のネットワークに参加するよう前記通信手段を制御することを特徴とする請求項1に記載の通信装置。

【請求項 13】

周辺に存在するネットワークを探索し前記第1のネットワークと関連するネットワークを検出する検出手段と

前記検出手段により検出された1以上のネットワークの識別子を一覧表示する表示手段と、

前記表示手段により一覧表示された前記1以上のネットワークの識別子の中からの1つの識別子の選択指定をユーザから受け付ける受付手段と、

を更に備え、

前記制御手段は、前記第2のネットワークの識別子として、前記受付手段により受け付けた前記1つの識別子を前記設定手段により設定するよう制御する

ことを特徴とする請求項12に記載の通信装置。

【請求項 14】

ネットワークの識別子を設定する設定手段と、前記設定された識別子に対応するネットワークに参加し通信する通信手段と、を備える通信装置の制御方法であって、

現在参加している第1のネットワークとは異なる第2のネットワークに参加する場合、該第2のネットワークの識別子として、前記第1のネットワークの識別子と関連する識別子を前記設定手段により設定するよう制御する制御工程を含むことを特徴とする通信装置の制御方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】通信装置およびその制御方法

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上述の問題点を解決するために本発明の通信装置は以下の構成を備える。すなわち、通信装置において、ネットワークの識別子を設定する設定手段と、前記設定された識別子に対応するネットワークに参加し通信する通信手段と、現在参加している第1のネットワークとは異なる第2のネットワークに参加する場合、該第2のネットワークの識別子として、前記第1のネットワークの識別子と関連する識別子を前記設定手段により設定するよう制御する制御手段と、を備える。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上述の問題点を解決するために本発明の通信装置の制御方法は以下の構成を備える。すなわち、ネットワークの識別子を設定する設定手段と、前記設定された識別子に対応するネットワークに参加し通信する通信手段と、を備える通信装置の制御方法において、現在参加している第1のネットワークとは異なる第2のネットワークに参加する場合、該第2のネットワークの識別子として、前記第1のネットワークの識別子と関連する識別子を前記設定手段により設定するよう制御する制御工程を含む。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】